

## ○ 今月のみことば

N. K

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。  
見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存在するから  
です。」 (コリントの信徒への手紙Ⅱ4章18節)

立春を過ぎると冷たい空気の中にも柔らかな陽ざしに春の訪れを感じます。  
2月は「気高く、強く、美しく」育った55回生が巣立ち、3月には58回生が義務  
教育を修了し中高6か年の節目を迎えます。一人ひとりの生徒が新しい生活へ希望  
に満ちて出発する中、一抹のさびしさも漂っているところです。

1月に24年目のメモリアルを行った阪神淡路大震災、8年目になる東日本大震災、  
また昨年6月の大阪北部や北海道での相次ぐ地震、夏休み明けすぐの台風の襲来な  
どが連続して起こり、一瞬のうちに家が倒れたり、水没し命を奪われたりするなど、  
人と人との関係が断ち切られるように見える出来事が頻繁に起きています。人は、  
大きな災害や出来事がある時、はじめて“目に見えないもの”の大切さに気づき  
ます。

また、社会の変動が激しく、AIをはじめ情報化のスピードには驚き、目を奪わ  
れている時、私たちは形に残せるもの、目に見える具体的なものに価値を置き、そ  
のものの奥にある“目に見えないもの”に目を注ぐことをいつの間にか忘れてし  
まっているように思うのです。

学校から帰ってあれもこれも話したい、これも見せたいと思っている子供に「ぼ  
うや、大きくなったら何になりたい」と尋ねたところ「ぼく、スマホになりたい。」  
と答えたという話を聞いてドキッとしました。私自身もつい最近スマートフォンで  
メールしたり、話したりするようになって、生徒や先生達とゆっくり向き合うこと  
を忘れていた、そんな私への警告のように心に響きました。「心で見なくちゃ、もの  
ごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ。」という  
『星の王子さま』の一節を思い出します。“目にみえないもの”に目を注ぎ、“永遠  
に存在するもの”に信頼と希望を持って、これからも歩み続けたいと思います。

## 生徒の心に語り掛きたいこと

PASSION!

英語科 K. M

これまで、たくさん入試長文を読んできました。その中には、天体、環境など  
の科学的事象、世界各国の様々な年代における社会問題、歴史、文化、哲学、人物  
伝、小説など多岐にわたります。苦手分野のもの、到底、自らは選んで読まないも

のもありますが、やはりそれは入試問題に選ばれる英文ですから、どれも大変示唆に富むものであり、新たな知識を得ることもでき、興味深いです。の中で、ひとつずつと心に残っている一節がありますので、今回はそれをお伝えしようかと思えます。

Picasso devoted his life to painting, Emily Dickinson to poetry, Socrates to philosophical truth, Madame Curie to physics, Marco Polo to exploration, Lincoln to justice. Each had his or her own life project, but all shared a passion for their work, a passion without which they would have accomplished little. Passion is a universal value, though it is expressed individually.

ピカソは人生を絵画に捧げた。エミリー・ディッキンソンは詩に、ソクラテスは哲学的真実に、キュリー夫人は物理学に、マルコ・ポーロは探検に、リンカーンは正義に。各々、自分自身の人生目標を持っていた。しかし、皆、自分自身の仕事に情熱を持っていたということは共通している。情熱、それなくして彼らはほとんど成し遂げられなかったであろう。情熱、表現される方法はそれぞれ独自であるが、それは不変的な価値である。



有名、無名問わず、様々な分野で活躍している人々を見る時、やはりそこに共通してあるのは、「情熱」'passion' だなあと思うのです。政治家、研究者、企業経営者、アスリート、テレビで活躍する人々、俳優、歌手、タレント、お笑い芸人、また何か一心に取り組んでいる身近な人々。そのパワーに圧倒され、尊敬の念を抱かずにはおれません。寝る間も惜しんで、けがにも精神的ストレスにもめげず、なぜそこまでできるのか。その全ての人々に共通してあるのが、「情熱、熱意」'passion'ではないでしょうか。

最近、アメリカで「全米最優秀女子高生」に選ばれたスカイ・ボークさんの母親、ボーク重子さんが「世界最高の子育て」という本を出版されました。その中でもパッションを見つけることの大切さが語られています。

あなたの好奇心を刺激するのは何ですか。時間を忘れて自ら進んでやるのはどんなことですか。スポーツ、歌、ダンス、絵画、お料理、手芸、読書、語学、数学、化学、物理、生物、歴史、地理、政治、、、、なんでも良いと思います。自分の中から湧き出る自分らしさを大切に、自分の大好きな分野から枝葉を伸ばし、社会とつながっていけば良いのだと思います。

最後に、‘使えない受験英語’と揶揄される大学入試英語ですが、英語長文を読む時、問題を解くことばかりに終始するのはもったいないと思います。せっかくの機会なので、内容を噛みしめ、英文を味わって読んで欲しいと思います。これからの人生に大切なことが散りばめられているかもしれません。苦手な分野の知識も増やし、その話題について自分はどうか考えるのか、思いをめぐらしてみてください。